



校
報

けむやま

矢巾町立煙山小学校
H30.2.9(金) 第18号
紫波郡矢巾町北矢幅 1-2
Tel.697-3163

高め合おう
礼節を重んじ美しく

無病息災祈願 スミつけ祭り

今から 380 年前にこの地を領していた煙山光邦公が菩提寺としていた實相寺。

本尊は千手観音で、城内観音堂の聖観音(焼観音)として奉安されています。毎年旧 12 月 17 日に歳持焚(せあどたき)という祭が行われています。せあど焚きとは 2 月の第 1 土曜日の「スミつけ祭り」だそうです。

昔火事にあった時にお寺だけ燃えなかったことから災難除けになるということで顔にスミを塗れば塗るほど今年も無事に過ごせるといふことらしいです。

WEB より

今から約 400 年も前から続くお祭りとして有名な、實相寺(じっそうじ)の「スミつけ祭り」。

地域の学校ということで、来賓として招待されました。

来賓なので、スーツを着ていこうと思ったのですが、要項には「汚れてもよい服装で」とありました。聞くところによると来賓も関係なくスミが付けられるとのこと。

ならばと、首にタオル、作業着、長靴。なんだ、いつもの自分の姿ではないですか。

このお祭りのために、実行委員会が組織され、地域の多くの方々が駐車場係や運営等に携わっていました。

お寺の本堂での読経、参禅から始まり、厳粛な雰囲気でお祭りが進められます。

さて、いよいよ裏山にある観音堂へ。

観音堂が置かれた境内では、青々とした葉をつけた杉の枝が、お椀を伏せたような形に、うず高く積み上げられていました。

この杉の枝葉は、**城内地区の子供たちも参加して一生懸命集めたもの**だそうです。

ご神木を下に入れ、いよいよ杉の葉に点火!の前に、地域の婦人会の皆さんが用意

どうか、校報にのりますように!

した、約 2000 個の餅まきです。

霽のため、初めはなかなか火に勢いがつかず、煙だけが夜空にもうもうと立ち上ります。なるほど**煙山というのはここから由来**するのかも…、と独り言。

この日は 3 つのテレビ局が取材に来ていました。

待ちかねたりポーターがフライングで火元から枝を引っ張り“燃えさし”をしごき、顔にぬり始めました。

マナーの良い参加者は、じっと待つ。待つこと 20 分、いよいよ開始!

境内に喚声、嬌声が響き渡ります。

あとは、ご想像にお任せします。

ファミリーで厄払い!

このお祭りでは、**スミつけコンテスト**があり、子供たち 10 人が表彰されます。

煙山小学校の子供たちも多数表彰されていました。

伝統を地域で引き継ぎ後世に伝えていくことの意義と価値は貴重な文化遺産です。

とても素晴らしい行事に参加できました。

今年はなんかいいことがあります。

コンテストで入賞!

町長さんに似た人がいました!!

本当に スクールガードさん ありがとうございます！

オレンジ色のベストを着たスクールガードさん。雨の日も風の日も、暑い日も寒い日も、子供たちの安全のために、毎朝、毎夕、地域に立ってくださったり、歩いてくださったりしています。感謝感謝の一言です。

児童会副会長の〇〇さんが「いつもありがとうございます」と感謝の礼状を届けました。

児童会会長の〇〇さんが「これからも宜しくお願いします」と感謝の礼状を渡しました。

他の学区では、人手が足りず、PTAで対応している地区もあるとのこと。本当に本当にありがとうございます。スクールガードさんのお陰で、子供たちは安心して登下校できます。これから益々寒くなります。ご無理なさらぬように、どうぞ宜しくお願いいたします。

感謝の思いを、**はっきり伝える**「おはようございます」「いつもありがとうございます」「いってきます」などの言葉で表してほしいと思います。学校でも指導します。ご家庭でもぜひ声をかけてください。

煙山小おやじの会主催 2018 凧揚げ大会



2月3日(土)。
村松会長の企画・準備・運営により、大人8名子ども10名の参加で、楽しく行うことができました。

昔は、お正月ともなると、手作りの凧を揚げました。よく風をとらえることが凧揚げのコツ。より高く揚げるには、技術と経験が必要です。

「たかが凧揚げ、されど凧揚げ」です。

【凧揚げ名人賞】

3年3組 小田島玄基さん

【長〜く飛んだで賞】

4年1組 渡邊陽亮さん親子

4年1組 高橋泉さん

【よく飛んだで賞】

1年1組 村井司さん

【よく走ったで賞】



矢巾町子ども議会開催

1月22日(月)。
小学生が参加しての

矢巾町子ども議会は今年で2回目。

中学生も含め、各校から代表3名が班に分かれて質問事項をまとめ、町に答弁を求めました。煙山小学校代表として参加した、〇〇さん、〇〇さん、〇〇さんが議員に任命され参加。議場も役場の本会場を使用。本当の議員しか踏み入れることのできない“じゅうたん”に足を踏み入れました。

当日は、町の産業、福祉施策など、本物の議会さながらに、矢巾町の住み良い町づくりに向けて活発な質疑が交わされました。

矢巾町のこれからの担う人材として、問題意識をもち、その思いを周りにも発信してほしいと思います。